



学校の働き方改革を踏まえた部活動改革 概要

部活動の意義と課題

- ✓ 部活動は、教科学習とは異なる集団での活動を通じた人間形成の機会や、多様な生徒が活躍できる場である。
- ✓ 一方、これまで部活動は教師による献身的な勤務の下で成り立ってきたが、休日を含め、長時間勤務の要因であることや、指導経験のない教師にとって多大な負担であるとともに、生徒にとっては望ましい指導を受けられない場合が生じる。
- ✓ 中教審答申や給特法の国会審議において「部活動を学校単位から地域単位の取組とする」旨が指摘されている。

持続可能な部活動と教師の負担軽減の両方を実現できる改革が必要

改革の方向性

- ◆ 部活動は必ずしも教師が担う必要のない業務であることを踏まえ、部活動改革の第一歩として、休日に教科指導を行わないことと同様に、休日に教師が部活動の指導に携わる必要がない環境を構築
- ◆ 部活動の指導を希望する教師は、引き続き休日に指導を行うことができる仕組みを構築
- ◆ 生徒の活動機会を確保するため、休日における地域のスポーツ・文化活動を実施できる環境を整備

具体的な方策

I. 休日の部活動の段階的な地域移行（令和5年度以降、段階的に実施）

- 休日の指導や大会への引率を担う地域人材の確保
（育成・マッチングまでの民間人材の活用の仕組みの構築、兼職兼業の仕組みの活用）
- 保護者による費用負担、地方自治体による減免措置等と国による支援
- 拠点校（地域）における実践研究の推進とその成果の全国展開

II. 合理的で効率的な部活動の推進

- 地域の実情を踏まえ、都市・過疎地域における他校との合同部活動の推進
- 地理的制約を越えて、生徒・指導者間のコミュニケーションが可能となる I C T活用の推進
- 主に地方大会の在り方の整理（実態の把握、参加する大会の精選、大会参加資格の弾力化等）

※ 以上の取組は、主として中学校を対象とし、高等学校においても同様の考え方を基に取組を実施。

※ 私立学校は、以上に示した公立学校の取組を参考に、教師の負担軽減を考慮した適切な指導体制の構築に取り組むことが望ましい。

学校の働き方改革を踏まえた部活動改革のスケジュール



文部科学省

	2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)	2023(R5)	2024(R6)～	
国	部活動指導員の配置支援					
	地域スポーツ・文化環境の整備の推進					
都道府県 ・ 市町村	教師の兼職兼業に関する整理					
	地域部活動・合同部活動を推進するための実践研究の実施 (保護者の費用負担、自治体の減免措置等、国による支援方策の検討を含む)					
	活動時間の適正化の推進					
	地域スポーツ・文化環境の整備の推進					
学校体育団体・ 競技団体・ 文化芸術団体	教師の兼職兼業による地域部活動への参画					
	地方大会の実態把握	地方大会の在り方の整理			生徒にとって望ましい合理的な地方大会の推進	
学校の働き方 改革関連	給特法 一部施行	給特法 施行	教員勤務実態調査		調査結果を踏まえた給特法改正の検討	
	超勤上限指針の策定・運用					

部活動改革の全国展開

- 休日の部活動の段階的な地域移行
〔休日の部活動の指導を望まない教師が部活動に従事しない環境の構築〕

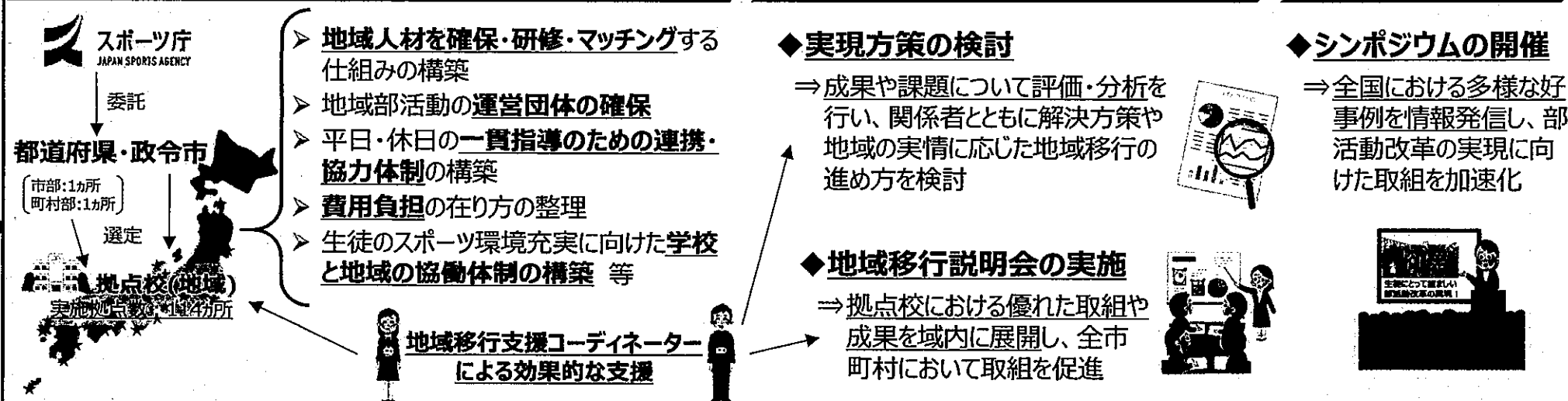
I. 休日の部活動の段階的な地域移行 (学校と地域が協働・融合したスポーツ環境の整備)

令和5年度以降の休日の部活動の段階的な地域移行に向けて、様々な課題に総合的に取り組むために、**全国各地の拠点校(地域)**において実践研究を実施し、**研究成果を普及**することで、休日の地域部活動の全国展開につなげる。

拠点校(地域)における実践

成果の検証・普及

情報発信



II. 合理的で効率的な部活動の推進

- 地域の実情を踏まえ、都市・過疎地域での**合同部活動によるスポーツ活動機会の充実**に向けた実践研究を実施する。
- スポーツ医科学の知見に基づいた科学的なトレーニングの導入や効率的な部活動の管理・運営の推進など、ICTを活用しつつ、**短時間で効果的な活動の推進**に向けた実践研究を実施する。

III. 生徒にとって望ましい大会の推進

- 大会の在り方の見直しに向けて、調査・実践研究を実施する。
 - 地方大会の実態を踏まえ、**参加大会数の設定や参加大会の精選の考え方・手法等**について明らかにする。
 - 令和5年度以降を見据え、**学校単位に限らず、生徒の多様なニーズに対応できる大会形式やレギュレーション等の在り方**を検討し、先導的なモデルを創出する。

令和3年度 部活動別生徒数調べ(5/1)

種目	峰山	大宮	網野	丹後	弥栄	久美浜	
野球	32	13	16	R1より休部	15	20	
ソフトボール	15	17		16			
バレーボール	19	12	19	17	12	20	
バスケットボール	男子	29	24	17	16	8	16
	女子	12	14	14			12
ソフトテニス	男子	31	32	30		14	33
	女子	39	32	27		20	27
卓球	男子	23	22	29	19		
	女子	13	16	1	7		
サッカー	14	12	15				
陸上	男子	18	24	23	10	13	22
	女子	8	4	23	12	14	7
体操	男子	4		8			
	女子	12		18			
カヌー						19	
レスリング(社会体育)			7				
サッカー(社会体育)			18				
吹奏楽	27	30	19	R1より廃部	18	22	
美術	12		10	8			
パソコン	11						
文化			9				
クリエ					7		
クリエイト						9	
ボランティア・パソコン		18					
各校 部数の合計	17(3)	14(2)	18(3)	8(1)	9(2)	11(2)	
市 部数の合計	体育系64部		文科系13部		合計77部		